

地域の将来像：住んでいる人々が誇れる郷 明日の小山田の創造

コミュニティだより

2023.3.15
第67号

明日の小山田を考える会の目的は、住んで良かった・ずっと住み続けたい・住み良い地域を創ることです。そのためには、地域の皆さんの積極的な関わりが必要です。

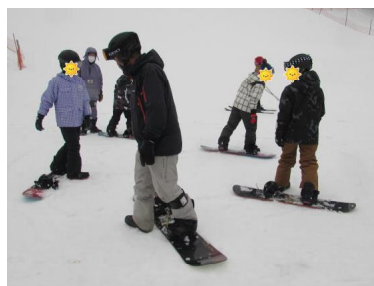
目指すは未来のオリンピック選手!!



1月14日、「スキー・スノーボード教室」を花巻市鉛温泉スキー場を会場として、親子12名の参加で開催しました。朝から小雨模様で開催できるか心配しながらの出発となりました。スキーの指導員には毎回お願いしている菊池忍さん(石鳩岡)と菅原毅さん(新地)に加え鉛温泉スキー学校から1名の指導員をお願いしました。また、スノーボードの指導員として昨年度に引続き菊池孝吉さん(石鳩岡)の指導を受けました。スノーボードには親子5人の参加となり、指導員ひとりでの指導は大変だったのではと感じましたが、一人一人に目を向けていただき



大感謝です。第一リフトで上に登り、滑走できるまでになり、上達の速さに“ビックリ!”しました。雨が降ったりやんだりあいにくの天候で、お昼近くには雨脚が強くなり、午後2時までの予定を早めに切り上げたので参加者は残念がっていました。さすがに天候には勝てませんでした。(T_T)



我が家の味、自家製みそづくりに挑戦!!



1月28日、南川目「さうすりばあい豆千代」の吉田千代子さんと菊池麻子さんに講師をお願いし「ママカフェ・みそ作り体験」を開催しました。当日は親子5組を含め14名が参加しました。事前に大豆は蒸してもらっていたので潰す作業からの開始です。ビニール袋に蒸した大豆を入れて潰し、次に米麴と塩を混ぜ、潰した大豆と混ぜ合わせ水を加えながら練ります。そして空気を抜きながら容器に入れて密閉し体験教室はここまです。皆さんは説明を聞きながら作業を進めていました。後は自宅へ持ち帰り、温度変化が少なく高温多湿・直射日光の当たらない場所でゆっくり寝かせます。夏の土用の頃に“天地返し”を行って秋頃には食べごろになるそうです。出来上がった味噌の感想をお聞きたいですね。これからも、地域の皆さんに「食」に興味を持ってもらえるよう、郷土に伝わる食文化に触れる機会などを増やしていきたいと考えています。



地域に伝わる芸能を後世に伝える

新型コロナウイルス感染拡大により二年間休止となっていた「郷土芸能発表会」を2月11日に小山田振興センターを会場に開催しました。当日は東和小学校長を始め、地元市議会議員、東和町芸術文化協会会長のご臨席をいただきました。3年ぶりの開催という事で運営側を始め、指導者・出演者は、以前開催していた頃を思い出しながら設営や練習・指導を重ね、当日は地元で伝わる芸能を子どもたちは力いっぱい披露してくれました。来場された皆さんは、久しぶりの子どもたちの元気あふれる発表に終始拍手を送っていました。

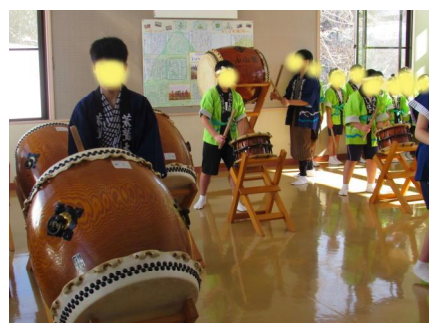


○ 前田、留ヶ森、古田
《御祝い》
様々な宴会の席で歌われている
「祝い唄」

○ 秋葉、駒形、
中川目、南川目
《こきりこ「田植え踊り」》
旧小山田小学校運動会で
毎年踊られていた、こきりこ「田植え踊り」



○ 外谷地、北小山田
《外谷地田植え踊り》
その年の豊作を祈り、農
作業の様子を踊りに表現
した演目の中の「こきり
こ踊り」と「笠ゆり」



○ 石鳩岡 《石鳩岡子供荒鷲太鼓》 平成2年に発足した創作和太鼓の演奏
「合わせ太鼓」「荒鷲太鼓」「津島太鼓」の三演目を披露

〈石鳩岡地区の中学生4名と早池峰岳琉石鳩岡神楽保存会による神楽の舞い〉

東和中学校2年生1名と1年生1名を含む「鶏舞」と1年生2名による「三番叟」



=東海林泰史 東和小学校長のコメント=

子どもたちの学校では見ることでできない表情や表現力を見させていただきました。学校では学ぶことでできない、これが「地域に於ける“ふるさと教育”のひとつなんだな」と実感しました。今後も子どもたちに郷土に伝わる芸能や風習を伝えていただき、そして子どもたちはそれを学び、地域での活動を続けてください。学校はもちろんですが地域でも子どもたちを育てて行っていただきたいと思います。

有害獣駆除狩猟者に対して支援

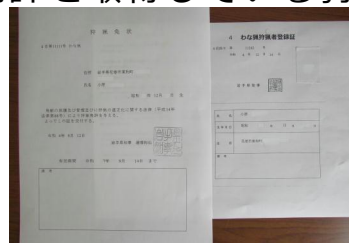


〔くくりわな〕



〔はこわな〕

最近、小山田地域内でも有害獣の目撃や農畜産物の被害をよく耳にするようになりました。地域内でのシカやクマなどの有害獣による農畜産物被害防止対策「ハンター等育成事業」として、「わな狩猟免許」取得に係る補助金交付申請者1名に対し費用の一部を補助しました。また、地域内でわな狩猟免許を取得している狩猟者を対象に、狩猟に係る「わな用具」の購入に対しても、申請のあった2名の方に費用の一部を補助しました。近年、狩猟者人口の減少や里山の手入れがなされなくなったことなどから生息域が拡大しているそうです。地域の皆さんで有害獣から地域を守りましょう。〔狩猟免許と登録書〕



来年度事業について各部会を開催しました

2月20日・21日・23日の3日間、総務部をはじめ、企画建設部、生活環境福祉部、産業振興部、教育振興部の各専門部が令和5年度の地域づくり交付金事業計画と予算についての部会を開催しました。各専門部の委員から、担当する事業や、取組んでいる事業の見直しなど、さまざまな意見や要望が出され協議が進められました。また、当地域はもとより、全国的な少子高齢化の進展に関する取組や、地域の担い手育成についての研修の場の提供などの事業化についての意見も出され、委員の皆さんの小山田地域で抱える課題解決や魅力と活力あふれる豊かな郷土創りへの取組に感謝します。 地域は皆の宝!!



〈総務部〉



〈産業振興部〉

「ほうき」の材料の栽培から物づくりまで



2月1日と27日の2日間、地域おこし協力隊の赤津有美さんが当センターで、外谷地の菊池さんを講師に「ほうき作り」を学びました。菊池さんは自宅ではほうきの材料となるイネ科の植物「ホウキモロコシ」を栽培し、農作業の少ない冬場を利用し自宅でほうき作りを行っているそうです。小さなものから、大きな「座敷ほうき」まで種類も様々でオリジナルも多彩です。1回目は基本の作り方となる小さな「ハンディほうき」を、2回目は「座敷ほうき」の作り方を学んでいました。飾り織の細かい工程もあり数日習っただけでは覚えきれないほどの内容との事。今後、物づくりだけでなく、材料の栽培から挑戦したいと心弾ませていました。



東和小壁新聞「まほろばに咲く花」を展示



東和小学校は町内の小学校6校が統合となり今年で12年目を迎えました。統合の年に生まれた子どもたちは現在12歳となり6年生となりました。このことをきっかけに、6年生は統合にいたった経緯について閉校記念誌や残っている当時の記録や資料を調べたり、閉校や統合に携わった方々のお話を聞き演じた今の学校が誕生するまでの歩みをたどるオリジナル劇「まほろばに咲く花」の発表を収めたDVD(ブルーレイ)が小学校より各振興センターに寄贈されました。また、子どもたちひとりひとりの感想文をそれぞれの旧学校区ごとに一枚に仕上げた壁新聞も小学校から贈られ当センターで展示しています。地域の皆さん観に来てください。

令和5年2月末現在

()：前月比

小山田の人口	世帯数/戸	男/人	女/人	計/人
第1行政区	57 (0)	83 (0)	71 (0)	154 (0)
第2行政区	145 (-1)	195 (-1)	187 (-1)	382 (-2)
第3行政区	153 (0)	204 (-2)	226 (-1)	430 (-3)
第4行政区	111 (0)	177 (0)	164 (1)	341 (1)
計	466 (-1)	659 (-3)	648 (-1)	1,307 (-4)

※花巻市住民登録人口集計表を基に作成しています



福寿草とミツバチ
(2023.2.28撮影)

～ 編集後記 ～

最近、毎日のように価格値上げのニュースがテレビや新聞等を賑わせています。先月、値上げされた食料や飲料は「再値上げ」や価格を変えずに内容量を減らす「実質値上げ」を含めて5460品目に上ったそうです。また、今年すでに値上げされたり値上げが予定されている食品や飲料は累計で1万2054品目と去年を上回るペースなそうです。さらに電気代やガス代の値上げと家計を苦しめています。いったいいつまで価格高騰は続くんでしょうね。もうギブアップ！（菊池）



発行：明日の小山田を考える会 電話：0198-42-2941
ホームページ：http://www.asuno-oyamada.jp
メールアドレス：asuno-oyamada@tuba.ocn.ne.jp